

http://iwamura.jp

「城」の文字は、城山を指す。城山は、城山町にあり、昭和47年(1972年)藩主邸跡に開館しました。二階建ての館内には、県の重要文化財に指定されている岩村藩の資料などを数多く収蔵。岩村の歴史が凝縮されています。

城山町にあり、昭和47年(1972年)藩主邸跡に開館しました。二階建ての館内には、県の重要文化財に指定されている岩村藩の資料などを数多く収蔵。岩村の歴史が凝縮されています。

城山町にあり、昭和47年(1972年)藩主邸跡に開館しました。二階建ての館内には、県の重要文化財に指定されている岩村藩の資料などを数多く収蔵。岩村の歴史が凝縮されています。


いいわむら観光光スポット

岐阜県恵那市


日本三大名城

お城編

岩村城周辺の観光スポット 女城主の里いわむらを堪能する



岩村城跡



岩村城跡図

1 城山 2 一の門 3 土坂門 4 登城口 5 三層櫓 6 龍神の井 7 八幡神社 8 八幡曲輪 9 三層櫓 10 二の丸 11 本丸 12 東曲輪 13 出丸 14 南曲輪 15 16 17

六段壁の見事な石垣が 重厚な歴史を語る場所

大和高取城(奈良県) 備前松山城(岡山県)と並び日本三大山城の一つに数えられる名城で(公財)日本城郭協会により「日本百名城」に選定されました。



藩主邸太鼓櫓

岩村の歴史のシンボル

江戸時代、城下に時を知らせる為に作られた櫓です。昔そのままの姿で、平成2年(1990年)に藩主邸跡に復元されました。



岩村歴史資料館

岩村城の歴史に触れる場所

城山の麓にあり、昭和47年(1972年)藩主邸跡に開館しました。二階建ての館内には、県の重要文化財に指定されている岩村藩の資料などを数多く収蔵。岩村の歴史が凝縮されています。



藩校 知新館

勉学の町いわむらの象徴

城山の麓に建つ知新館は、林述斎など、数々の偉人を世に送り出した藩校です。



下田歌子勉学所

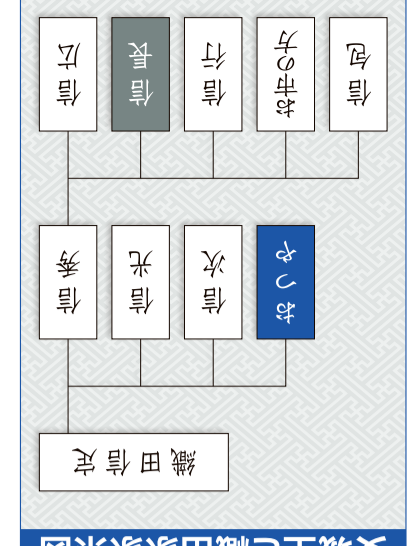
下田歌子が勉学に励んだ場所

日本の女子教育の先駆者であり、実践女子大学の創設者である下田歌子が、父の書齋で父と祖父の蔵書を読み、独学で和漢学を学んだ部屋を復元しました。



日本一の農村景観展望台

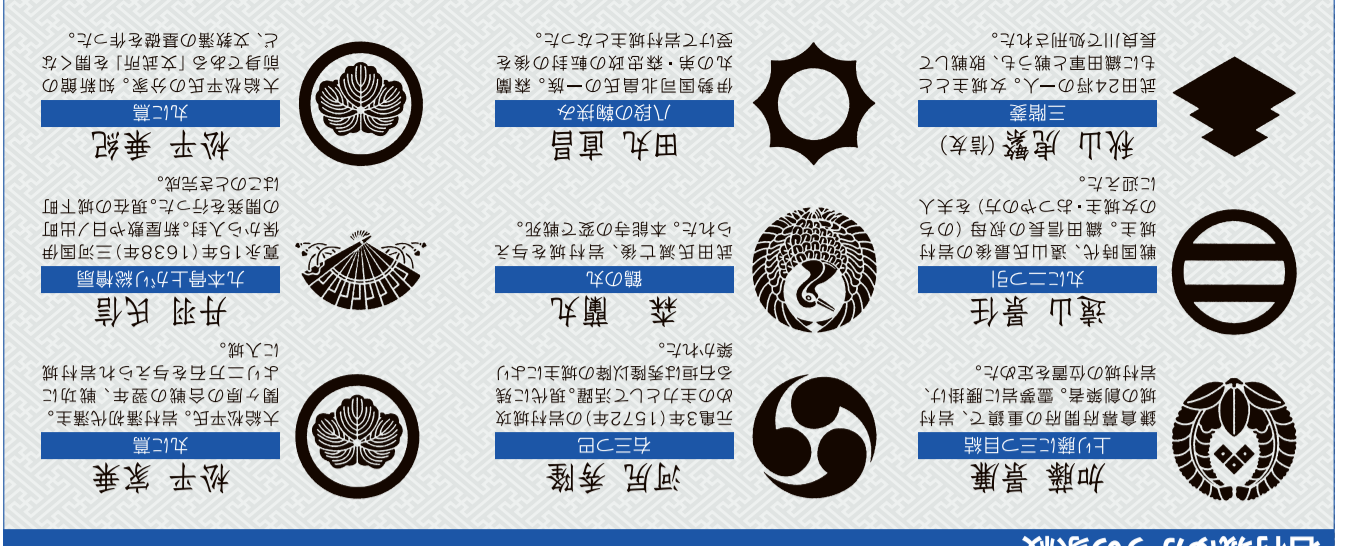
岩村城下町から車で5分。ここから望む農村の風景は絶景です。



女城主 特設ページ

http://onna-iwamurajp

城下町の守備に動かし、平和な日々を過ごしました。婿を決意し、開城しました。その後の数年間、おつやは虎繁と共に、城の普請や申し立てを繰り返しました。おつやは苦渋の末、城兵や領民の命を守るため敵將との結食糧も不足して来たころ、虎繁からおつやを妻とすることを条件に無血開城を命じられた。おつやは大覚悟で、領民に暮らしていた。城下町に暮らしていた。城下町に暮らしていた。城下町に暮らしていた。

岩村城ゆかりの家紋

加藤 景康 (上り藤に三つ目)

遠山 景任 (丸に二つ引)

田丸 直昌 (八段の鞠球み)

松平 家乗 (丸に高)

松平 乗紀 (丸に高)

丹羽 氏信 (丸に高)

河尻 秀隆 (右三つ巴)

森 蘭丸 (鶴の丸)

秋山 虎繁 (三階蓼)

女城主 特設ページ

http://onna-iwamurajp

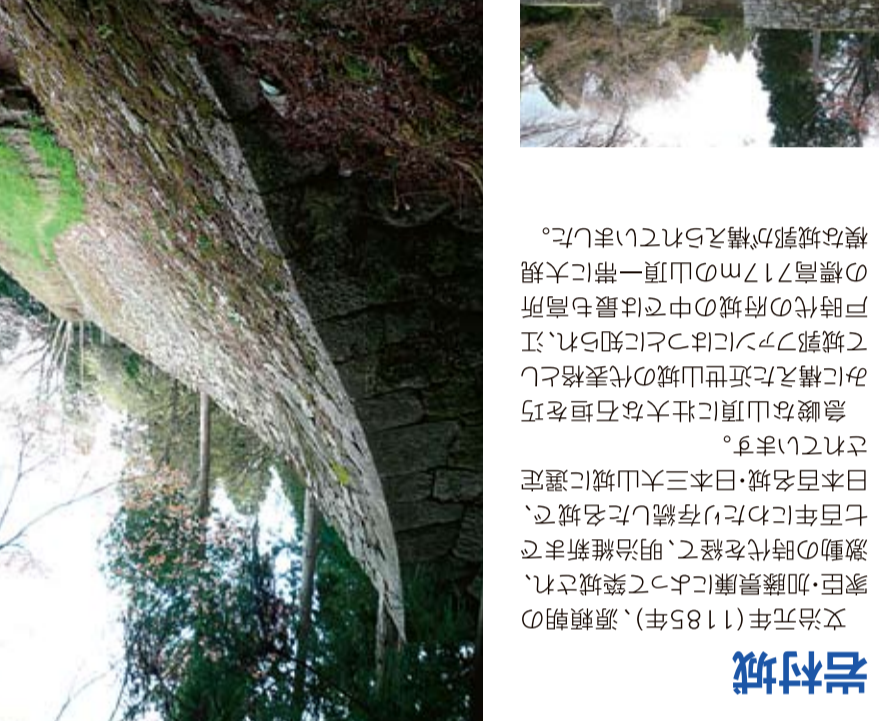
城下町の守備に動かし、平和な日々を過ごしました。婿を決意し、開城しました。その後の数年間、おつやは虎繁と共に、城の普請や申し立てを繰り返しました。おつやは苦渋の末、城兵や領民の命を守るため敵將との結食糧も不足して来たころ、虎繁からおつやを妻とすることを条件に無血開城を命じられた。おつやは大覚悟で、領民に暮らしていた。城下町に暮らしていた。城下町に暮らしていた。

女城主ものがたり

文治元年(1185年)、源頼朝の家臣加藤景康が遠山荘の地頭となり、遠山氏を称しました。戦国時代末期、城主の遠山景任が病没し、養子として迎えていた織田信長の五男御坊丸がまだ幼少であったため、その夫人おつや(織田信長)の支援を受け、遠山景任が御坊丸を養子として迎えていた織田信長が、おつやは自ら采配を振るりました。おつやは自ら采配を振るりました。おつやは自ら采配を振るりました。

岩村城伝説

岩村城内には17所もの戸井があり、現在も残っている。おつやは苦渋の末、城兵や領民の命を守るため敵將との結食糧も不足して来たころ、虎繁からおつやを妻とすることを条件に無血開城を命じられた。おつやは大覚悟で、領民に暮らしていた。城下町に暮らしていた。城下町に暮らしていた。



岩村城の歴史 壮大な石垣と数々の逸話を今に伝える名城

岩村城を楽しむ



今、よみがえる 岩村城

岩村城再現CGビューア

岩村城(岩村城跡)は、現在も約1.7kmに及び壮大な石垣を残しており、日本百名城のひとつ(岐阜県では岐阜城と岩村城のみ)、また、日本三大山城のひとつに数えられています。残念ながら建物は現存していません。そこで、この度、「岩村城絵図」を基に忠実に再現した「岩村城再現CG映像」を作成しました。城内に設置された看板からQRコードを読み取り、ご覧頂くことができます。

CG映像はナレーションが流れますので、端末の音声ONにしてご覧ください。おしり日の岩村城と現在の風景を現地で重ねて、往事を想像してみてください。

サンプル画像 (端末の音声ONにしてご覧ください)

「岩村城御城印」&「御城印帳」

「御城印」(お城御朱印)は、寺社とは別の「築城記念証」で、日付けも入り。登城記念にぜひどうぞ

その他、岩村城関連商品も販売中...

- 庄/バッチ(2種類)
- 岩村城クリアファイル
- 御城印帳
- 家紋付御城印帳袋
- 家紋付巾着袋

販売所 (一社)恵那市観光協会岩村支部/えなでらいわむら(観光案内所)

お問い合わせ

(一社)恵那市観光協会岩村支部(まち並みふれあいの館内) ☎0573-43-3231

https://iwamura.jp E-mail kankou@iwamura.jp

岩村歴史資料館 入場料/一般300円 65歳以上200円(高校生以下無料) ☎0573-43-3057

4月~11月 9:00~17:00 12月~3月 9:30~16:00 定休日/月曜日(休日の場合は翌日)

木村邸	入場料/無料	定休日/月曜日(休日の場合は開館)
土佐屋	入場料/無料	定休日/水曜日(休日の場合は開館)
勝川家	入場料/無料	定休日/火曜日(休日の場合は開館)
加納家(鉄砲鍛冶)	入場料/無料	開館日/土・日曜日、祝日
柴田家	入場料/無料	定休日/金曜日(休日の場合は開館)

アクセス

車で	名古屋IC	中央自動車道	恵那IC	岩村町
		約50分		約20分
電車で	JR名古屋駅	中央本線	JR恵那駅	
		約60分		
			明知鉄道 恵那駅	
			飯羽間駅	極楽駅
				岩村駅
				約30分

